

## 輸出品目別レポート（粉乳・乳製品）

### ■品目説明

#### 【粉乳】

粉乳には、全粉乳、脱脂粉乳、ホエイパウダー、たんぱく質濃縮ホエイパウダー、バターミルクパウダー、調製粉乳などがある。[一般社団法人日本乳業協会](#)によると、以下の説明がされている。

〔全粉乳〕生乳や牛乳からほとんどすべての水分を除去して乾燥させたもの。

〔脱脂粉乳〕脱脂乳（生乳や牛乳から脂肪分を取り除いたもの）からほとんどすべての水分を除去して乾燥させたもの。脂肪分をほとんど含まないため、全粉乳より保存性に優れている。市販の脱脂粉乳（スキムミルク）は溶けやすいよう顆粒状に加工している。

〔ホエイパウダー〕チーズを作る過程でできるチーズホエイ（乳清）から、ほとんどすべての水分を除去して乾燥させたもの。

〔たんぱく質濃縮ホエイパウダー〕チーズを作る過程ででき乳清から乳糖を取り除き、ほとんどすべての水分を除去して乾燥させたもの。

〔バターミルクパウダー〕クリームからバターを製造する際のチャーニング（攪拌）の工程で得られるバターミルクから、ほとんどすべての水分を除去して乾燥させたもの。

〔調製粉乳〕「牛乳を原料として製造した食品」を主要原料とし、幼児に必要な栄養素を強化し粉末状にしたもの。粉末状にしたもので賞味期限も長く常温保存が可能な製品である。主に育児用調整品のことを指す。

[農林水産省「牛乳乳製品統計調査」](#)によると、全粉乳、脱脂粉乳、調製粉乳、ホエイパウダーの23年の国内生産量は、それぞれ10,515トン、144,284トン、29,902トン、17,807トンであった。粉乳のうち日本からの輸出で大半を占めるのが調製粉乳（特に、育児用調製粉乳）である

そのほか、[日本乳業協会「日本乳業年鑑」\(2023年版\)](#)、[農畜産業振興機構\(alic\)](#)、[農林水産省「最近の牛乳乳製品をめぐる情勢について」\(2025年6月\)](#)も参考にしてほしい。

#### 【牛乳乳製品】

そのほか、牛乳乳製品として、LL牛乳（ロングライフ牛乳、常温（外気温を越えない温度）保存可能品）、チルド牛乳やチーズ、アイスクリームその他製菓など。

### ■貿易概況

#### 【粉乳】

2023年の粉乳の輸出をみると、金額は前年比18.7%減の1億2,317万ドル、数量ベースでは同32.5%減の14,430トンであった。主要輸入相手国・地域別にみると、1位はベト

ナムで金額は前年比 6.6%減の 7,708 万ドル、数量は同 15.6%減の 5,791 トンとなった。2 位はフィリピンで同 11.9%増の 1,499 万ドル、3 位はカンボジアで 20.2%増の 918 万ドルであった。

▼表1：日本の粉乳輸出

(単位：ドル、トン、%)

	2021年		2022年		2023年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
ベトナム	84,406,365	5,748	82,505,238	6,865	77,086,823	5,791	△ 6.6	△ 15.6
フィリピン	736,525	550	13,398,818	4,099	14,995,576	5,051	11.9	23.2
カンボジア	10,064,474	677	7,641,375	631	9,185,627	798	20.2	26.5
台湾	11,504,560	1,381	10,550,633	1,709	8,646,848	1,136	△ 18.0	△ 33.5
香港	11,448,246	699	8,782,160	696	5,051,449	344	△ 42.5	△ 50.6
全世界	126,505,001	10,731	151,480,578	21,374	123,172,857	14,430	△ 18.7	△ 32.5

注：対象はHSコード 0402.10、0402.21、0402.29、0404.10、1901.10

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

## [調製粉乳（育児用調製品）]

育児用調製品（小売用にしたものに限る）は、前年比 7.6%減の 1 億 214 万ドル、数量ベースでは同 16.1%減の 7,759 トンであった。輸出相手国・地域別にみると、ベトナム向けが 1 位を維持したが、金額では前年比 7.4%減の 7,566 万ドル、数量が同 18.1%減の 5,422 トンと減少した。2 位はカンボジアで同 20.2%増 の 918 万ドル、数量が 26.7%増の 798 トンだった。

▼表2：日本の育児用調製品輸出

(単位：ドル、トン、%)

	2021年		2022年		2023年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
ベトナム	84,086,841	5,740	81,702,752	6,618	75,662,068	5,422	△ 7.4	△ 18.1
カンボジア	10,056,275	677	7,639,374	630	9,182,754	798	20.2	26.7
台湾	11,050,083	1,262	7,723,143	986	7,674,143	890	△ 0.6	△ 9.7
香港	11,097,689	668	8,518,797	647	5,031,071	341	△ 40.9	△ 47.3
モンゴル	1,672,624	119	1,165,754	99	1,461,462	118	25.4	19.2
全世界	120,713,491	8,653	110,514,730	9,252	102,143,116	7,759	△ 7.6	△ 16.1

注：対象はHSコード 1901.10

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

なお、育児用調整品は、農林水産省の輸出拡大実行戦略（2025 年 5 月）の輸出重点品目である牛乳乳製品の中の一つに入っています。2030 年までに全体 706 億円（ベトナム 186 億円、台湾 18 億円、香港 13 億円、カンボジア、モンゴルその他 49 億円など）を目指している。また、中国は 440 億円を目指しているが、2025 年 5 月現在、原発事故以来輸入停止の状況であり、輸出再開に向け協議中。

アジアを中心に堅調に推移しているが、主な輸出先は出生率が低下している状況であることが課題。今後効果的なプロモーションによる認知度向上によりターゲット層の拡大を

目指すとしている。

### 【牛乳乳製品】

[alic「飲用乳（LL牛乳・チルド牛乳）輸出への取り組み～よつ葉乳業株式会社におけるアジア諸国への輸出策～」（2025年4月）](#)によると、輸出額は香港、シンガポール、台湾などアジア向けを中心に増えている。

なお、LL牛乳・チルド牛乳に関して、農林水産省の[輸出拡大実行戦略](#)（2025年5月）で2030年までに全体で25億円（香港15億円、台湾4億円、シンガポール4億円など）、チーズに関しては同全体29億円（台湾13億円、香港7億円、タイ4億円など）、アイスクリームその他製菓に関して、同全体96億円（台湾28億円、香港16億円、中国15億円など）を目指している。

LL牛乳・チルド牛乳は日本産の小売価格は他国産の競合商品と比べて割高であることが課題。チーズ、アイスクリームはアジアを中心に輸出先および金額は堅調に増加しているが、生産量の確保、輸出先の嗜好の把握とそれに合わせ製品の安定的供給が課題。

### ■海外事情

#### ●ベトナム

[ベトナムPF品目別（乳製品）カントリーレポート（2023年4月）](#)によると、ベトナムでは牛乳、粉ミルク・ベビーフード、大人用強化ミルク、チーズ、ホエイ、ミルクプロテイン、アイスクリームミックスとさまざまな日本の牛乳・乳製品が市場で流通しているものの、競合品に比べるとまだ存在感は薄い状況にある。

### 【粉乳】

ベトナムの2023年の粉乳の輸入は、金額は前年比12.1%減の7億8,114万ドル、数量は30.6%増の29万5,436トンであった。日本は、金額ベースで3位の4,926億ドルであった。そのうち育児用調製品は、金額は前年比13.2%減の2億6,031万ドル、数量は同13.9%減の21,074トンであった。日本は、金額ベースで1位の4,800万ドルであった。

20年ほど前から日本産の粉乳の輸入が増えており、そのほか、ニュージーランド産、米国産、オーストラリア産、と輸入粉乳の品揃えは多様化している。国産粉乳の商品開発も盛んで、種類も豊富になっている。特に、日本産の育児用調整品は安心安全・高品質という観点でニーズがある。

[同レポート](#)によると、日本産の乳児用粉ミルク 1kgあたり20～33ドル程度である。また、粉乳や乳製品に関する事例（[ジェトロ地域分析レポート](#)、2024年10月）もある。

▼表3：ベトナムの粉乳輸入

(単位：ドル、トン、%)

	2021年		2022年		2023年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
ニュージーランド	189,623,417	52,180	242,287,378	55,357	264,921,720	76,847	9.3	38.8
米国	206,947,209	130,342	197,899,437	75,925	117,525,930	116,677	△ 40.6	53.7
日本	58,825,921	6,396	60,644,895	5,294	49,269,211	3,554	△ 18.8	△ 32.9
オーストラリア	48,477,524	9,448	61,201,426	11,102	45,545,906	7,832	△ 25.6	△ 29.5
フランス	26,486,732	8,582	23,192,362	5,767	43,988,595	14,176	89.7	145.8
全世界	838,138,030	294,455	888,631,979	226,230	781,144,811	295,436	△ 12.1	30.6

注：対象はHSコード 0402.10、0402.21、0402.29、0404.10、1901.10

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

▼表4：ベトナムの育児用調製品輸入

(単位：ドル、トン、%)

	2021年		2022年		2023年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
日本	58,723,022	6,394	59,810,954	5,048	48,003,495	3,202	△ 19.7	△ 36.6
シンガポール	62,331,126	7,661	38,534,021	3,408	40,745,807	2,517	5.7	△ 26.1
アイルランド	27,480,978	2,440	39,635,681	3,569	32,434,117	3,032	△ 18.2	△ 15.0
オーストラリア	26,540,762	2,023	25,900,279	1,642	30,430,192	2,279	17.5	38.8
タイ	45,345,313	4,006	41,840,970	2,645	25,178,506	1,563	△ 39.8	△ 40.9
全世界	317,587,466	34,732	299,748,944	24,483	260,316,407	21,074	△ 13.2	△ 13.9

注：対象はHSコード 1901.10

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

### 【乳製品】

ベトナム PF 品目別カントリーレポート（競合国比較）（2024年12月）によると、2023年のベトナムへの乳製品の輸入状況は、LL牛乳などの牛乳類が6億3,400万ドル（97,362トン）で、ニュージーランド、米国、フランスが主な供給国となっている。バターは6,500万ドル（2,778トン）で、主にニュージーランドから輸入されている。チーズは8,800万ドル（3,741トン）で、ニュージーランド、米国、フランス、オーストラリアが主要な供給元となっている。統計や市場価格、市場情報などは、同レポートを参照してほしい。

### ●台湾

台湾の2023年の粉乳のうち育児用調製品は、金額は前年比16.6%増の1億790万ドル、数量は同6.8%増の9,800トンであった。日本は、台湾の輸入相手国として金額ベースで7位の318万ドルであった。

日本乳業協会「牛乳乳製品の市場調査 及び日本産乳製品に関する調査～台湾編～」（2019年）によると、台湾は、既に日本からの牛乳乳製品が輸出されており、今後も日本産牛乳乳製品の輸出先として有望な市場である。また、近年の台湾国民の食生活の変化などに伴い、牛乳乳製品の消費量は増加傾向にあり、今後さらなる国際市場からの輸入需要も見込まれている。

▼表5：台湾の育児用調製品輸入

(単位：ドル、トン、%)

	2021年		2022年		2023年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
アイルランド	21,236,502	1,300	21,160,017	1,376	22,540,980	1,281	6.5	△ 6.9
ドイツ	16,022,840	1,746	18,623,636	1,899	22,018,425	1,944	18.2	2.4
シンガポール	21,974,463	2,038	19,377,388	2,225	18,205,362	2,048	△ 6.0	△ 8.0
スイス	17,188,960	1,861	10,213,076	1,322	16,937,373	1,922	65.8	45.4
オランダ	10,593,357	1,101	10,128,849	1,099	13,442,461	1,333	32.7	21.3
日本（7位）	4,734,434	385	3,221,482	296	3,188,646	282	△ 1.0	△ 4.7
全世界	102,917,767	9,421	92,582,071	9,174	107,909,436	9,800	16.6	6.8

注：対象はHSコード 1901.10

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

### ●フィリピン

フィリピンの2023年の粉乳は、金額は前年比34.8%減の6億1,442万ドル、数量は同23.8%減の23万トンであった。日本は、フィリピンの輸入相手国として金額ベースで7位の1億4,167万ドルであった。

フィリピンは気候上酪農産業に向かず、脱脂粉乳輸入量が多い国一つで、約半分を米国からの輸入を占めており、主に還元乳、アイスクリーム、育児用およびその他の調製粉乳の製造に仕向けられている。

▼表6：フィリピンの粉乳輸入

(単位：ドル、トン、%)

	2021年		2022年		2023年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
米国	296,121,877	124,509	456,507,185	146,285	318,814,307	117,514	△ 30.2	△ 19.7
アイルランド	20,266,130	7,270	68,200,332	14,651	69,729,111	16,210	2.2	10.6
ニュージーランド	79,162,217	25,140	115,696,433	29,063	62,725,750	19,367	△ 45.8	△ 33.4
ベルギー	57,032,342	20,077	69,702,781	19,928	36,716,185	12,517	△ 47.3	△ 37.2
ポーランド	19,937,009	9,470	24,955,903	10,491	16,998,590	8,794	△ 31.9	△ 16.2
日本（7位）	292,200	558	8,549,074	3,229	14,167,946	5,840	65.7	80.9
全世界	706,448,870	272,855	942,314,547	302,432	614,423,342	230,394	△ 34.8	△ 23.8

注：対象はHSコード 0402.10、0402.21、0402.29、0404.10、1901.10

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

### ●その他

一般社団法人日本畜産物輸出促進協会の活動報告にて、牛乳乳製品の市場調査として、シンガポール・台湾・香港、マレーシア・ベトナム、アメリカ、フランスなどの調査レポートがまとめられている。

・JFOODO「2021年度 農林水産物・食品8品目流通調査：乳製品／シンガポール」（2022年7月）

・JFOODO「2021年度 農林水産物・食品8品目消費者調査：乳製品（シンガポール）」

(2022年7月)

ジェトロ「現地市場価格調査」では、牛乳、チーズ、バター、アイスクリーム・氷菓の主要都市における市場価格をまとめている。

牛乳・乳製品の輸入規制、輸入手続きに関して、ジェトロのポータルにて、香港、台湾、韓国、中国、シンガポール、マレーシア、インドネシア、タイ、ベトナム、米国、EU、英國をまとめている。また、農林水産省もあわせて参照。

本レポートに関する問い合わせ先：

日本貿易振興機構（ジェトロ）

農林水産食品部 市場開拓課 調査チーム

〒107-6006

東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル

TEL：03-3582-5186

#### 【免責事項】

本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できる限り正確な情報の提供を心がけておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。